



マナウス日本人学校 学校便り

マナウス

2015年1月30日 第24号

学校教育目標

- ・自ら進んで学びとる子ども (知)
- ・礼儀正しく思いやりのある子ども (徳)
- ・心と体を鍛える子ども (体)

交流の日から

1月10日(土)に昔遊びと餅つきをして児童生徒と保護者、総領事館並びにマナウス日本文化振興会の皆さんとの交流を図りました。今年度は山崎総領事ご夫妻をはじめ多くの来賓、並びに来年度の新入学生等のご家族にもご参加いただき、昨年度以上の参加者数で賑やかに実施できました。

最初に昔遊びとして「おはじき」「けん玉」「竹馬」「かるた」「福笑い」等でみんなと楽しく遊びました。ゲーム機が普及しデジタル化の中で育っている現代っ子ですが、日本に古くから伝わる遊びを体験しながら、良き日本文化を感じることができました。その後、2つに分かれて餅つきを行いました。日本の家庭ですら“臼と杵”で本格的に餅つきを行っているところは少ないと思います。子どもたちは先生や保護者の皆さんの手助けを受けながら、慣れない手つきで餅をつく姿があり、とても微笑ましく見えました。最後には、つくたてのお餅をお雑煮などでおいしく頂きました。この餅つきやお雑煮に関わりましては、前日の準備から後片付けまで PTA 役員さん、並びに保護者の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。



貴重な経験を積みました～遠足よい～



今年度はサッカーワールドカップ開催の関係から、1月16日(金)に遠足を実施しました。翌週には日本文化コースの修了式が行われるため、全員そろっての最後の行事となりました。午前中に YAMAHA 社の工場を見学し、午後からアドルフドゥッキ植物園を園内散策しました。YAMAHA 社では最初にロゴマークの違いやマナウス工場での生産などの説明を聞いたあと、部品づくりから組み立て工程までを見学しました。子どもたちはロボットによる溶接作業や最終検査の様子など、オートバターの製造から出荷まで説明を聞きながら間近で作業の様子を見ることができました。植物園ではアリヤクモの巣、樹齢550年の大木など、普段見ることができない動植物をガイドの説明を聞きながらジャングルを散策しました。今回の遠足では座学では学べない貴重な事柄について体験を通して学ぶことができました。YAMAHA 社では大変お忙しいところ時間をとっていただき、工場内の見学や説明など懇切丁寧に対応していただきました。日本国内では、なかなか製造過程まで見学できる企業がありませんだけに、子どもたちにとっては本当に貴重な経験を積むことができました。ありがとうございました。

2名が日本文化コースを巣立ちました！

1月23日(金)に多くのご来賓や保護者の皆様のご臨席の下で、平成26年度日本文化コースの修了式を行うことができました。今年度の修了生はさん、さんの2名です。2人とも現地校がある中で、学校行事にも積極的に取り組んでいました(さんは昨年度運動会団長、さんはチアリーダーなど)。修了後、現地高校への進学となりますが、将来の夢や希望に向けてたゆまぬ努力を続け、日本とブラジルの架け橋となって活躍してくれることを願っています。また、修了生として時にはマナウス日本人学校にも顔を出して元気な姿を見せてください。本当に修了おめでとうございました。

2月行事予定

- 1日(日) 参観日、PTA 総会
- 3日(火) 節分集会(業間)
- 6日(金) 外国語発表会
- 16日(月) 振替休業日
- 17日(火) 祝日(カーナバル)
- 18日(水) 祝日(灰の水曜日)
- 25日(水) 中学部学年末テスト(～26日)